

評価基準

教科	道徳	学年	1学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
<p>どうとくで がくしゅうすること</p> <p>どうとくでは こんな まなびかたをするよ</p>	1	自分で考えたり、友達と話し合ったりすることをとおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもつ。	友達との対話をとおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているかどうかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	自分自身を見つめ、自分の考えとは違う意見を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
<p>1 がっこう だいすき</p> <p>「がっこうは たのしいね」</p> <p>【C よりよい学校生活、集団生活の充実】</p>	1	学校生活について考えることをとおして、学校やクラス・友達に関するさまざまなことに気づき、よりよい学校生活や集団生活を送ろうとする心情を育てる。	よりよい学校生活を送ることのよさに気づき、よい学校生活や集団生活を送るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	学校生活や友達のよさを理解し、学校や集団生活を送るために必要なことについて、自分との関わりで考えることができているか。
<p>2 あいさつの ことば</p> <p>「あいさつを しょう」</p> <p>【B 礼儀】</p>	1	相手にどのような言葉をかけたり、どのような態度で接したりすればよいか考えることをとおして、挨拶の大切さに気づき、すすんで気持ちのよい挨拶をしようとする実践意欲と態度を育てる。	挨拶をすることの大切さに気づき、気持ちのよい挨拶をするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	相手や場面に合わせた挨拶をすることの大切さを理解し、それぞれの場面でのふるまい方について、自分との関わりで考えることができているか。
<p>3 きもちの よい せいかつ</p> <p>「きもちよく くらす」</p> <p>【A 節度、節制】</p>	1	自分の一日について考えることをとおして、時間を守ったり、身のまわりを整えたりすることの大切さに気づき、すすんで規則正しい生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる。	時間を守ることや身のまわりを整理・整頓することの大切さに気づき、どうすれば気持ちよく暮らすことができるかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	基本的な生活習慣を身につけることで、快適な毎日が過ごせることを理解し、これからの生活について、自分との関わりで考えることができているか。
<p>4 なかなおり</p> <p>「ともだちと なかよく」</p> <p>【B 友情、信頼】</p>	1	友達とのやりとりを体験的に学ぶことをとおして、素直に謝ることの大切さに気づき、友達とよりよい人間関係を築こうとする判断力を育てる。	素直に謝ったり、友達と仲よくしたりすることの大切さに気づき、どうしたら友達と仲よくすることができるかについて、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができているか。	相手の立場や状況を踏まえて素直に謝ったり、友達と仲よくしたりすることの大切さを理解し、友達と仲よくすることについて、自分との関わりで考えることができているか。

評価基準

教科	道徳	学年	1学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
5 これって いいのかな 「きまりを まもる」 【C 規則の尊重】	1	約束やきまりを守ることに ついて考えることをとおして、 約束やきまりの大切さに気づき、 約束やきまりを大切にしていこうと する判断力を育てる。	約束やきまりを守ることの大切さに 気づき、どうすればきまりを守ること ができるかについて、多面的・多角 的に考えることができるか。	約束やきまりを守って生活すること の大切さを理解し、きまりを守るこ とについて、自分との関わりで考 えることができるか。
6 かぼちゃの つる 「わがママを しないで」 【A 節度、節制】	1	かぼちゃがしたことについて考 えることをとおして、わがママや 自分勝手な行動をしないで、よく 考え、節度ある生活を送ろうとす る判断力を育てる。	わがママや自分勝手な行動をしないこ との大切さに気づき、わがママをし ないようにするためにはどうすれば よいかについて、多面的・多角的 に考えることができるか。	わがママや自分勝手な行動をせず に節度ある生活を送ることの大切 さを理解し、自分も周囲の人も快 適な気持ちにするための行動や考 えについて、自分との関わりで考 えることができるか。
7 ハッピーチェンジ 「よい ところに きづく」 【A 個性の伸長】	1	友達のよいところについて考 えることをとおして、よいところ を見つけることの大切さに気づき、 すすんで友達のよいところを見 つけようとする実践意欲と態度 を育てる。	友達のよいところを見つけることのよ さに気づき、よいところに気づくた めにどうすればよいかについて、 多面的・多角的に考えること ができるか。	友達のよいところを理解し、すす んで友達のよいところを見つけるこ とについて、自分との関わりで考 えることができるか。
8 おふろばそうじ 「じぶんで きめた ことを やる」 【A 希望と勇気、努力と強い意 志】	1	お風呂場掃除に対するあきらの 姿勢について考えることをとお して、自分のやるべき仕事や勉強 などに気づき、それらをすすんで 行おうとする判断力を育てる。	自分のやるべき仕事の大切さに 気づき、自分で決めたことをやる ためにはどうすればよいかにつ いて、多面的・多角的に考える ことができるか。	自分のやるべき仕事や勉強の大切 さを理解し、自分で決めたことを どうすればできるかについて、自 分との関わりで考えることができ ているか。
9 おじいちゃん だいすき 「だいすきな かぞく」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	まひろとおじいちゃんの心の交 流について考えることをとお して、家族の大切さに気づき、家 族のためにすすんで役に立とう とする実践意欲と態度を育てる。	家族とのつながりや家族のよさに 気づき、家族を大切にするため にはどうしたらよいかについて、 多面的・多角的に考えること ができるか。	家族を大切にするこを理解し、家 族のためにすすんで役に立とうと することについて、自分との関 わりで考えることができるか。

評価基準

教科	道徳	学年	1学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
10 くまさんの おちゃかい 「すなおな ところで」 【A 正直、誠実】	1	さるさんの行動について考えることをとおして、うそやごまかしをせず、素直に謝ることの大切さに気づき、うそやごまかしのない明るい心で生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	うそやごまかしをしないことの大切さに気づき、うそやごまかしをしないためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	うそやごまかしをせず素直に謝ることの大切さを理解し、うそやごまかしのない明るい生活をしていくことについて、自分との関わりで考えることができているか。
11 にちようびの できごと 「れいぎを たいせつに」 【B 礼儀】	1	友達の行動について考えることをとおして、礼儀正しくすることの大切さに気づき、礼儀正しくしようとする判断力を育てる。	礼儀正しくすることの大切さに気づき、礼儀正しくするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	礼儀正しくすることの大切さを理解し、礼儀正しくふるまうことについて、自分との関わりで考えることができているか。
12 すてきな きょうしつ 「みんなと たのしく」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	楽しい学校生活について考えることをとおして、友達のよさに気づき、みんなとともに楽しい学校生活を送っていこうとする心情を育てる。	楽しい学校生活を送ることのよさに気づき、楽しい学校生活を送るためにはどうすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	友達とともに楽しい学校生活を送ることの大切さを理解し、みんなと楽しくすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
13 二わの ことり 「ともだちの ために」 【B 友情、信頼】	1	友達について考えることをとおして、友達を思うことの大切さに気づき、友達を大切にしていこうとする心情を育てる。	友達のことを思うことの大切さに気づき、友達のためにできることについて、多面的・多角的に考えることができているか。	友達のことを思って行動することの大切さを理解し、友達を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
14 なんて いったのかな？ 「よいと おもう ことを すすんで」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	いろいろな場面における言動を考えたり、やってみたりと、体験的に学ぶことをとおして、どのような行動をすべきか考え、よいと思うことをすすんで行き、友達に対してもはたらきかけようとする判断力を育てる。	よいと思うことを行うことの大切さに気づき、よいと思うことをすすんで行うためにはどうすればよいかについて、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができているか。	よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを行うことの大切さを理解し、よいと思うことをすすんで行き、友達に対してもはたらきかけていこうとする事について、自分との関わりで考えることができているか。

評価基準

教科	道徳	学年	1学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
15 いっしょに あそぼう 「だれとでも なかよく」 【C 公正、公平、社会正義】	1	仲間外れについて考えることをとおして、誰とでも仲よくすることの大切さに気づき、みんなと仲よくしていこうとする心情を育てる。	仲間外れをしないことの大切さに気づき、誰とでも仲よくするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	仲間外れをしないでみんなと仲よくすることの大切さを理解し、誰とでも仲よくすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
16 ダメ！ 「ゆうきを だして」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	りすくんの気持ちや行動について考えることをとおして、よいと思うことは勇気をもって行うこと大切さに気づき、よいことと悪いことを区別して、すすんでよいと思うことを行おうとする実践意欲と態度を育てる。	よいと思うことを行おうとすること大切さに気づき、よいと思う行動をするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	よいことと悪いことの区別をして、よいと思う行動をすること大切さを理解し、勇気を出してよいと思う行動をすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
17 たのしかった ハイキング 「しぜんの なかで」 【D 自然愛護】	1	身近な自然について考えることをとおして、自然のよさや不思議さに対する理解を深め、自然に親しみ、動植物を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	自然のもつ不思議さや生命力などに気づき、自然に親しみ、動植物を大切にするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	自然のもつ不思議さなどを理解し、自然を大切にしようすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
18 きいろい ベンチ 「きまりを まもって」 【C 規則の尊重】	1	たかしさんとてつおさんの行動について考えることをとおして、約束やきまりを守ること大切さに気づき、みんなが使う物を大切にしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	約束やきまりを守ること大切さに気づき、約束やきまりを守るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	約束やきまりを守って生活すること大切さを理解し、みんなが使う物を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
19 けしごむくん 「ものを たいせつに」 【A 節度、節制】	1	物を大切に使うことについて考えることをとおして、身のまわりの物を大切にすることのよさに気づき、常に大切にしていこうとする心情を育てる。	物を大切にすることのよさに気づき、物を大切にするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	身のまわりの物を大切にすることのよさを理解し、身のまわりの物を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
20 くりのみ 「あいてを おもいやって」 【B 親切、思いやり】	1	きつねとうさぎの行動について考えることをとおして、自分だけでなく相手の立場にも気づき、思いやりをもって親切にしようとする心情を育てる。	相手を思いやること大切さに気づき、思いやりのある行動を取るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	相手を思いやって行動すること大切さを理解し、相手のことを考えて親切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。

評価基準

教科	道徳	学年	1学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
21 につぼんの ぎょうじ 「でんとうや ぶんかに したしむ」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	昔から伝わるいろいろな行事について考えることをとおして、日本には季節ごとにさまざまな行事があることを知り、親しみをもつとともに、わが国や郷土を大切にしようとする心情を育てる。	昔から伝わる行事のよさに気づき、さまざまな行事に対して親しみをもつとともに、日本や地域の伝統的な行事を大切にするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。	国や地域に伝わる行事のよさを理解し、季節ごとのさまざまな行事を守り、親しみをもって生活することについて、自分との関わりで考えることができるか。
22 ハムスターの あかちゃん 「いのちが もつ ちから」 【D 生命の尊さ】	1	ハムスターの赤ちゃんの成長する様子について考えることをとおして、生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、かけがえのない生命を大切にしようとする心情を育てる。	生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、生命を大切にするにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。	生命のたくましさやすばらしさを理解し、かけがえのない生命を大切にするることについて、自分との関わりで考えることができるか。
23 ひとつぼし 「よい ところに きづく」 【A 個性の伸長】	1	友達や自分のよいところについて考えることをとおして、友達や自分に対する理解を深め、自分のよさを実感し、自分の長所を伸ばしていこうとする心情を育てる。	友達や自分のよいところに気づき、自分のよいところを伸ばしていくためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。	友達や自分のよいところを理解し、自分のよさを伸ばしていくことについて、自分との関わりで考えることができるか。
24 せかいの しぐさ 「せかいに めを むけて」 【C 国際理解、国際親善】	1	世界のいろいろな仕草について考えることをとおして、国や仕草の違いを知ることの大切さに気づき、すすんで世界の国々を理解しようとする実践意欲と態度を育てる。	世界の国々を理解することの大切さに気づき、すすんで世界の国々を知るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。	世界のいろいろな国を知ることの大切さを理解し、すすんで世界のことを知ろうとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
25 あのね 「うそや ごまかしを しない」 【A 正直、誠実】	1	チッチの行動について考えることをとおして、うそやごまかしをせず、正直でいることの大切さに気づき、うそやごまかしのない明るい心で生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	うそやごまかしをしないことの大切さに気づき、うそやごまかしをせず正直でいるためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。	うそやごまかしをしないで正直でいることの大切さを理解し、うそやごまかしのない明るい心で生活することについて、自分との関わりで考えることができるか。

評価基準

教科	道徳	学年	1学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
26 はしの うえの おおかみ 「あたたかい ところで」 【B 親切、思いやり】	1	おおかみの行動について考えることをとおして、優しい気持ちをもって、すすんで親切な行動をしようとする心情を育てる。	温かい心で相手に接することのよさに気づき、親切にするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	優しい気持ちで相手に接することのよさを理解し、思いやりの心もち、親切に行動することについて、自分との関わりで考えることができているか。
27 おとうさん ありがとう 「ありがとうの きもち」 【B 感謝】	1	仕事が忙しい中でも「わたし」の世話をしてくれるお父さんに対する気持ちを考えることをとおして、日頃お世話になっている人々を尊敬し、感謝の気持ちを表そうとする実践意欲と態度を育てる。	感謝をする気持ちをもつことの大切さに気づき、日頃お世話になっている人々に対して感謝をするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	日頃お世話になっている人々に感謝をする気持ちをもつことの大切さを理解し、感謝の気持ちをもつことについて、自分との関わりで考えることができているか。
28 こくばんとうばん 「みんなの やくに たつ」 【C 勤労、公共の精神】	1	「わたし」の迷いや行動について考えることをとおして、責任をもって働くことのよさに気づき、自分もすすんで働こうとする実践意欲と態度を育てる。	みんなのために働くことのよさに気づき、みんなのためにすすんで働こうとするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	責任をもってみんなのために働くことのよさを理解し、責任をもってすすんで働くことについて、自分との関わりで考えることができているか。
29 七つの ほし 「うつくしい ところ」 【D 感動、畏敬の念】	1	自分よりも相手のことを思いやる女の子の行動などについて考えることをとおして、美しいものや清らかなもののよさに気づき、すがすがしい心をもとうとする心情を育てる。	美しいものや清らかなもののよさに気づき、美しい心をもつためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	身のまわりの美しいものや清らかなものからそのよさを理解し、心の美しさについて、自分との関わりで考えることができているか。
30 もりの ゆうびん屋さん 「はたらく よろこび」【C 勤労、公共の精神】	1	働くくまさんの姿について考えることをとおして、相手から喜ばれたり、感謝されたりすることが働く喜びにつながることに気づき、すすんでみんなの役に立とうとする心情を育てる。	働くことのよさに気づき、すすんでみんなの役に立つにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	働くことやみんなの役に立つことのよさを理解し、みんなのためにできることについて、自分との関わりで考えることができているか。

評価基準

教科	道徳	学年	1学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
31 いのちのはじまり 「いのちをたいせつに」 【D 生命の尊さ】	1	おへその役割について考えることをとおして、生命の尊さや生きていることのすばらしさに気づき、受け継がれた生命を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	生命の大切さに気づき、生命を大切にしているためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	命のつながりや生命の大切さを理解し、生命の大切さやすばらしさについて、自分との関わりで考えることができているか。
32 「ありがとう」のくすり 「ありがとうのきもち」 【B 感謝】	1	毎日の登校を見守ってくれているかとうさんへの感謝の心について考えることをとおして、日頃から世話をしてくれている人たちへの感謝の気持ちを表そうとする心情を育てる。	感謝することの大切さに気づき、日頃から世話をしてくれている人たちへの感謝の気持ちを表すにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	日頃から世話をしてくれている人たちに感謝することの大切さを理解し、身のまわりの人に感謝することについて、自分との関わりで考えることができているか。
33 るすばん 「かぞくののために」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	留守番をする「ぼく」の気持ちを考えることをとおして、家族の大切さに気づき、家族を大切に、家族のためにすすんで役に立つようとする実践意欲と態度を育てる。	家族の大切さに気づき、家族のためにすすんで役に立つにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	家族とのつながりや家族の大切さを理解し、家族のためにできることについて、自分との関わりで考えることができているか。
34 ねんがじょう 「むかしからつたわるぶんか」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	年賀状について考えることをとおして、昔から伝わる風習や文化のよさに気づき、これからも大切にしていこうとする心情を育てる。	昔から伝わる風習や文化のよさに気づき、これからも大切にしていこうするにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	地域の行事や文化のよさを理解し、それらを大切にしていこうすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
がくしゅうをふりかえろう	1	学期末・学年末に道徳の授業を振り返り、自分の成長を捉えさせる。	心に残った話（教材）とそれを選んだ理由、一年間の道徳の学習をとおして感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしていきたいことについて考え、まとめることができているか。	